



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 8

2017.8.30 (No.2926)

クラブと地区の変革をめざそう

第2560地区ガバナー／新保清久
 会長／小出子恵出
 会長エレクト／松永一義 (クラブ奉仕A)
 会長ノミニ／若槻八十彦 (クラブ奉仕B)
 副会長／五十嵐晋三
 幹事／吉井直樹
 S A A／歸山肇
 会計／関川博

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (～はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

- 本日の出席会員数:60名中40名
- 先々週出席率:82.76%

【ゲスト】

- ・ 寺子屋つばさ100km徒歩の旅実行委員会
 嘉瀬一洋 様

【ビジター】

- ・ 米山奨学生
 ベニヤ ゴンザレス, ルイス エドアルド君

【先週のメイクアップ】

- [8.25] 吉田RCへ
 ・ 渡辺勝利さん
- [8.26] 国際奉仕フォーラム(新潟)へ
 ・ 若槻八十彦さん
- [8.27] 第1回ロータリー財団セミナー
 (新潟)へ
 ・ 小出子恵出さん、若槻八十彦さん、
 ・ 吉井直樹さん、野崎喜一郎さん



会長挨拶

小出子恵出 会長

みなさんこんにちは。寺子屋つばさの
 嘉瀬一洋様、今日は卓話有難うございま
 す。楽しみにしております。

8月27日に新潟のホテルで財団セミナー
 があり、しっかりと勉強をしてきました。

勉強会の前に田中ガバナー年度の寄付
 金額上位クラブの表彰と大口寄付者の表
 彰がありました。当三条クラブは、渋谷



健一さんと川瀬康裕さん、お二人の大口寄付により2560地区
 において、寄付額総計 \$ 26,174で1位でした。それに伴い1人
 当たり寄付額も \$ 460で1位に輝きました。1人当たり寄付額
 では、2位の高田クラブ \$ 319を \$ 100以上引き離す結果でし
 ました。私はその表彰状を頂きに4回登壇致しました。さながら
 三条ロータリーショーでした。こんな機会を与えていただ
 き、渋谷さん、川瀬さん有難うございました。

表彰式の後には、勉強会です。

ロータリー財団地区補助金は、各クラブから2名以上の出
 席がないと申請する資格が与えられません。クラブ会長・幹
 事・財団委員長は義務出席です。私は2月18日にも同様なセ
 ミナーを受けています。地区補助金の活用要件が毎年徐々に
 厳格になってきました。度が過ぎたのか、予算の58%しか消
 化できず、2次募集を9月末日締切で行うものです。



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度国際ロータリーのテーマ



田中ガバナー年度の地区ロータリー財団寄付総額は\$ 382,858 (約42,000千円)です。日本全体で17億85,820千円が集まっています。(ロータリー日本財団H27年度事業報告)

2018年に財団創立100周年を迎えます。それに合わせてがむしゃらに寄付を集めようとしているのが感じられました。

分相応という言葉もあります。寄付でありますから出来る方から大いに奮発していただきたいと思えます。私は、渋谷さん、川瀬さんのお陰により、三条クラブを目立たせることができた運のいい会長です。結びます。

幹事報告

吉井直樹 幹事

◎新保ガバナー事務所より

「9月ロータリーレートのご案内」

9月1日より 1ドル = 109円 (現行111円)

◎三条東RCより

「市内4RC会長幹事会のご案内」

日 時 9月8日(金) 13:00~

会 場 三条ロイヤルホテル

議 題 市内4RC合同例会について 他

◎田中政春直前ガバナーより、昨年11月に開催された地区大会のダイジェスト映像、スナップ写真データが届いております。ご覧になりたい方は事務局にお申し付けください。

◎9月2日(土)は、ジオ・ワールド ビップに於いて第4分区IMが開催されます。

次週 9月6日(水)の例会は、IMの出席振替となり、通常例会はお休みです。お間違えのないよう、お願い致します。

ニコニコBOX

小出子恵出会長

すっかり秋らしい気候になり、疲れています。

寺子屋つばさの嘉瀬一洋様、卓話ありがとうございます。

吉井直樹さん

早いもので間もなく9月になります。実り多い秋となる事を祈念します。

本日嘉瀬様、宜しく申し上げます。

梨本次郎さん

本日の卓話の嘉瀬一洋様、お忙しい中ありがとうございます。地域の子どもは地域で育てるを信条に、10年間事業を継続されていることにただただ敬服します。

衛藤泰男さん

私の住む柳沢では、つくつくぼうしが鳴き初め、秋の到来近しと教えてくれます。

五十嵐晋三さん

残暑お見舞申し上げます。

樺山 仁さん

ミサイルの件で心配事が増えそうです。

本日は気温も下がりグッドです。

今日の卓話に期待しております。

野水靖之さん

昨日のミサイルはビックリしました。

平和な世の中になってほしいものです。

佐野勝榮さん

盆が過ぎたら朝晩が涼しくなってきました。

松永一義さん

小学生の宿題のラストスパートしてます。じじの出番はありません。

嘉瀬様の卓話、楽しみにしております。

中村和彦さん

お盆に孫が帰りました。やっともとの生活にもどりました。

嘉瀬様、卓話ありがとうございます。

若槻八十彦さん

嘉瀬様、卓話楽しみにしています。

八月が終わりそうですが、夏の疲れが出てきてます。

小越憲泰さん

嘉瀬様、卓話ありがとうございます。小学校4年生の孫も参加させていただきました。来年も参加したいと言っております。

中村信一さん

よいことがありました。スマイルボックスに協力いたします。

明田川賢一さん、中條克俊さん、柳取崇之さん、

斎藤真澄さん、小林卓哉さん、歸山 肇さん、

杉山幸英さん、木村文夫さん、船越良則さん、

石橋育於さん、金子俊郎さん、丸山行彦さん、

渡辺良一さん、落合孝夫さん、渡辺勝利さん、

石黒良行さん

嘉瀬一洋様を心より歓迎申し上げます。

お話楽しみにしております。

8月30日分 ￥ 30,000

今年度累計 ￥ 311,000

「卓 話」

「寺子屋つばさ100km徒歩の旅」

寺子屋つばさ

100km徒歩の旅実行委員会

嘉瀬一洋 様



2007に燕三条青年会議所のメイン事業として企画立案されたこの事業は、4泊5日というスケジュールと安全面への管理体制が不十分ということから計画は

頓挫して開催を断念せざるを得ませんでした。その当時の理事長が小林吾郎さんです。「こういう事業を青年会議所でやるべきだ！」との理事長の思いを実現させる事が出来なかった悔しい思いを、翌年に理事長職を賜った私がそのまま引き継ぎました。そして翌年の2008年に第1回の寺子屋つばさ100km徒歩の旅は、「地域の子どもは地域で育てる」という理念を掲げ、社団法人 燕三条青年会議所が主催して行いました。

しかし予想以上に初回の開催は厳しいものでした。学生スタッフ募集はかなり難航して、初回は9名の学生スタッフに対して参加小学生32名というスタートとなりました。思い返せばあの2008年の開催から今年でとうとう10回目の開催となります。今年は学生スタッフ55名、中高生スタッフ8名、そして小学生82名と大幅に参加者も増えました。この事業は4回までを青年会議所が主催しましたが、第5回からは更に地域に根差し安定した100km徒歩の旅を開催する為、青年会議所より移管して外部団体(寺子屋つばさ100km徒歩の旅実行委員会)によって運営されています。

さてこの事業は、暑い真夏の炎天下の中で、4泊5日かけて新潟県三条・燕・弥彦地区の小学4年生～6年生が、大学生・専門学生・社会人スタッフと共に100kmの道のりを歩きぬく体験学習型の青少年育成事業です。この4泊5日で自らの足で、最後まで諦めずに歩きぬくという実践体験学習を通じて、子ども達に、「やれば何でもできる！」という自信と達成感を持ってもらい、どんな困難にも負けず向き合い、自分で考え、解決し乗り越えるということ、人への思いやり、一緒に感動する心などの子ども達の「生きる力」の醸成を目的としたものです。自らの足で100kmの道のりを歩きぬいたという達成感は、これからの人生において大きな自信になるわけです。

また、親元を離れて限界への挑戦に挑む子ども達と同様に、保護者の方たちにとっても初めての経験

になります。参加小学生の4～6年生であれば、親子の間でも次第に適度な距離感が必要になってくる年頃です。100km徒歩の旅は、前からリード、横からサポートし、後ろで見守る親としてのあり方を深く考える機会も提供します。我が子の参加を決めた時点から、クーラーを付けずに寝る練習、常温の水を飲む、早寝早起きを習慣化させる、歩く練習をする、といったように保護者の方たちにも覚悟を持って本番までに子ども達と一緒に準備してもらう必要があります。そういう意味では、参加する子ども達の保護者の皆様にも学生スタッフと同様に、子どもを育成するスタッフとして覚悟を決めて貰わなければなりません。

嬉しいことに開催から10回目となる今年は、過去の参加者であった子ども達が、学生スタッフとなって参加しています。参加小学生、そして中高生スタッフを経て、やがては大学生スタッフとなって、「人の為に汗をかく」というお役立ちの精神を醸成する土壌をも出来つつあります。

この事業に参加する学生スタッフは、真夏の本番まで、子ども達の安全や指導の為に計200時間に及ぶ厳しい研修を積み、本番の5日間に臨みます。この研修は、この事業で子ども達を支える学生スタッフにとっても大きな学びの場となります。最初は大学生の良き思い出に！と参加した学生達が、厳しい研修を通じて最後には「子ども達の為に！」と心のベクトルが変わってゆきます。人の為に汗かく素晴らしさをこの実体験を通じて大いに学ぶこととなります。この100km徒歩の旅は、関わる全ての人が成長できる事業であるとも言えます。

最後になりますが、この三条地域において、これからの日本の未来を担う子ども達、そして学生達が、より逞しく育ち、そしてやがては社会人となり、人の為に汗をかける強く優しい人間に育てられるように、「地域の子どもは地域で育てる」ということを、この100km徒歩の旅を通じて実践していきます！

9月のお祝い

◎会員誕生祝

- 6日 渡辺勝利さん
- 13日 杉山幸英さん
- 19日 外山雅也さん
- 20日 山田富義さん



◎夫人誕生祝

- 1日 衛藤蓉子さん(泰男さん)
- 22日 斎藤昌子さん(弘文さん)

◎結婚記念祝

- 24日 渡辺良一さん(ひとみさん)

◎100%出席賞

- 23年 山田富義さん
- 13年 小出子恵出さん

次週例会 9月13日 12日(火)～13日(水)「親睦旅行」
※通常例会はお休みです。

次々週例会 9月20日 「施設訪問例会」 12:30開会点鐘
於 グッデイいきいきサポートセンター

